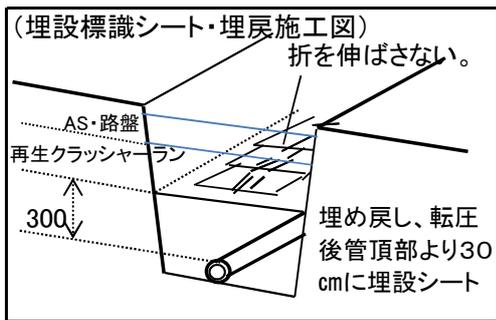


各継手については、耐震型ワンタッチ継手を使用すること。(インコア打ち込み型や内蔵型など、メーカーにより異なる)

○ **メーター一次側の材料は(公)日本水道協会の認証製品とする**

(施工上の注意)



管上30cmまでは再生砂、路盤までは再生クラッシャーランで埋め戻すこと。AS復旧は3cm以上の合材を敷設すること。

- ポリエチレン管(1種二層管)を使用し、溶剤浸透防止スリーブを設置すること。挿し口部は必要に応じて**面取り**を行うこと。
- 水圧テスト・穿孔・コア挿入は水道局の立会が必要。
(水圧テスト、コア挿入は工事写真に水道局職員が入る必要あり)
- 水圧テストは0.75Mpaで10分間静置後0.65MPa以上あれば合格とする。
・テストポンプは、分水栓に取りつけます。
・水道局職員が到着してから水圧をかけます。
・分水栓【開】、止水栓(副弁(栓))【閉】で行います。
なお、副弁(栓)は水道局職員で操作します。
- 穿孔は、分水栓、止水栓(副弁(栓)含む)を全開にした状態で行うこと。
- 工事写真は、施工場所、申請者名、施工業者名、水栓番号を記載し、取出管の管種・口径・寄り・深さ、引込管の管種・口径・深さなどを記載した看板と一緒に撮影する。看板に書いた文字等が、後に確認できるよう留意すること。
- 被分岐管が粉体塗装管の場合は専用の穿孔刃を使用すること。
- EF接合チェックシートを記入し、**竣工時**に提出する。

2次側について

- 水圧、水量、水質は給水装置工事主任技術者の責任により検査必要。**残留塩素は、0.1mg/l以上必要**
- 材料に関しては*** 認証機関**の認証製品であれば使用可能
- 施工に関しては主任技術者の責任施工。(後日の事故等についても同様)

* 認証機関

- (公)日本水道協会
- (財)日本ガス機器検査協会
- (財)日本燃焼器具検査協会
- (財)電気安全環境研究所